

# レスキュー便り vor3

全腎協災害対策委員会

壁新聞 8月号

平成28年8月3日発行

編集責任者 災害対策委員会

日々の会活動、お疲れ様です。

以下の災害情報と活動報告を、壁新聞でご報告いたします。



## 災害関連情報

### 熊本震災その後

4月14日の9時過ぎに発生した熊本の震災、現在まで3カ月以上が経過しました。熊本震災に関連した事で、今回は福祉避難所についてお話します。

#### 福祉避難所とは

既存の建物を利用し介護が必要な方、障害者、高齢者など一般の避難所で生活に支障がきたす人に対してケアが行われる以外、要配慮者※注1)に配慮したポータブルトイレ、手すりや仮設のスロープなどのバリアフリーがされた避難所の事で一般の避難所とは別の扱いになり、透析患者も適用されます。阪神震災以降にその必要性が注目され熊本市では2012年に九州北部豪雨の後に災害時に福祉避難所を設置する協定を176の福祉施設と提携し最大で1700人を受け入れ可能。全国では7647の施設があります。

※全国の福祉避難所数は内閣府防災担当より平成27年3月時点の調査報告



#### ※注1) 要配慮者

以前に使われていた「要援護者」の代わりに、平成25年6月の災害対策基本法の改正から使われるようになった言葉です。上記の障害者、高齢者以外に乳幼児やその他の特に配慮を要する人を「要配慮者」といいます。

#### 熊本震災時の福祉避難所の状況

熊本震災から約2週間後「福祉避難所」として、要援護者を受け入れる熊本市に点在する1700人收容できるものが、実際には34施設104人の利用者に留まりました。施設自体が震災による停電や断水に見舞われた事、施設職員も被災し現場に向かえず人手不足や一般住民が被災したため、そのまま避難場所として使用した事などがその理由でした。このような経緯もあり、熊本の透析患者さんも福祉避難所に行けず、一般の避難所に避難されたようです。

## 活動報告

6月14日（火）に馬場会長と木村副会長が、熊本に赴き、被災状況の調査と熊本腎協へ災害のお見舞をさせていただきました。

震災に遭われた皆様が1日も早いご復興と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。また、熊本震災で被災された会員さんの状況は以下になります。

熊本地震 会員被災状況(途中報告)

家屋全壊	家屋半壊	一部損壊	避難勧告指示	総数
12	53	309	12	386

## 少し耳寄り情報

### 新聞紙で作る簡易スリッパ

大きな地震に遭遇すると、棚が倒れて食器が割れたり、窓ガラスが割れ、床にガラス片などが飛散する事が少なくありません。動きやすい靴やスリッパなどの履き物が近くにあれば良いのですが直ぐに用意ができない事や災害時の急な非難により履物を忘れた場合などに利用できます。

ネットで「新聞紙でスリッパ」と検索。もしくは下記のURLを入力してみてください。

<http://sonaeru.jp/goods/handiwork/groceries/g-9/>

## 災害情報



2016年7月27日(水) 23時47分頃に茨城県北部を震源地とした震度5弱の地震がありました。震源は深さ約60km、マグニチュードはM5.4で、茨城県の日立市と常陸太田市が震度5弱で観測されました。被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

北海道では7月26日に降り始めた断続的な激しい雨による水害が発生しており28日の時点で日高地方で雨量が300mm超に達しており、土砂災害や河川の増水などによる警戒警報が出ました。両災害に関して、透析施設や透析患者さんに被害はありませんでした。

壁新聞のお問い合わせは右記へ



全腎協

全腎協 災害対策委員会

TEL : 03-5395-2631

FAX : 03-5395-2831

次回は…?

10月頃の発行予定です。